



第5回 写真プリント研究会開催のご案内

日本写真芸術学会では、写真表現において、最も基本的かつ写真作品の根源ともいえるべき“プリント”を大切にしていきたいと考えています。現在、写真は身近なコミュニケーションのツールであり、アートの重要な表現手段の一つとなっていますが、デジタル技術の急速な発達に伴い、発表の場や方法も多様化し、写真表現そのものも変化してきました。このような時代の流れの中で、写真表現とプリントの今後について会員の皆様と共に考えるため、平成28年度に「写真プリントセミナー」を開催して好評を博しました。それを受けて平成29年度かから、研究会を開催しており、今回で第5回目の開催となります。今回の研究会では、『STILL CRAZY nuclear power plants as seen in Japanese landscape』『TIMESCAPES –無限旋律–』等の作品で良く知られ、日本を代表する写真家の一人でもある広川泰士氏を含めて4人の講師をお招きして研究会を開催致します。会場ではプリントの実物を見せて頂きながらご講演頂けることから、是非多くの方々にご参加頂きたくご案内申し上げます。

日時 令和6年2月3日(土) 14:00～15:30 (13:30 受付開始)

会場 東京工芸大学中野キャンパス1号館2階1204教室
〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5

講演 「デジタルモノクロ銀塩バライタプリント (通称ラムダバライタ) について」

講演者 広川 泰士 (写真家)
武田 浩 (DKSH マーケットエクспанションサービスジャパン株式会社)
澁井 誠 (株式会社写真弘社)
澤崎 暁生 (株式会社写真弘社)

要旨: デジタル時代におけるモノクロ写真の表現方法の一つとして、銀塩バライタ印画紙で出力するレーザープリントを紹介致します。今回はレーザープリンターのロジックについて、実際に作品制作に携わった写真家広川泰士氏のプリントを提示しながら4人の講演者が登壇して解説します。

参加費 無料
学会HP「イベント申込フォーム」よりお申込みください



締め切り 令和6年1月26日(金)

申込QRコード▶

Access



主催 日本写真芸術学会